

「どんなかお」

年齢	対象の自然	季節	時間
3歳から	葉、枝、石など全般	春夏秋冬	約15分

ねらい

- 自然の中に様々なものがあることに気づき、意識を持って自然をみると新たな発見があることを体感する



概要

自然の葉っぱ、木の枝、石などをよく見ると顔のように見えたり、顔のパーツにできそうなものがあります。このあそびは自然物を使って「顔」を作る体験をするあそびです。

必要なもの

- ひも、ロープ（2mぐらいのもの）
- 黒い布
- バンダナ

活動のポイント

- 活動場所によっては自然物を探すときにウルシなどのかぶれる植物に注意しましょう。
- 風が強い時は、風のあたらない場所を選び、バンダナを被せたり、黒布の四隅に石を置くと良いでしょう。自然物を拾ったら、室内に移動して顔を作ることも考えられます。

事前準備

- 下見をして、顔を作る場所や自然物を拾う場所を決めておきます。
- 人数が多い場合は顔を作るグループをあらかじめ分けておくとスムーズです。

進め方

- 導入
 - 顔をテーマにあそぶことを話し、顔にはどんな表情があるか聞く
 - 葉っぱ二枚で表情を変えるあそびをする
- あそび
 - （大人数の場合）顔を作るチームになる
 - やり方を説明する（必要であれば見本をつくる）
 - 近くにある自然物を拾ってきて顔を作る
 - ロープを顔の輪郭にして黒布の上で作る
 - 鑑賞会をする（作った顔を共有する）
- ふりかえり
 - 感想を聞き、メッセージを伝える
 - 持ってきた自然物を元あったところに戻す

<声かけのイメージ>

今日は顔であそぶよ。みんなはどんな顔が好き？怒った顔？笑った顔？いろいろな顔があるよね。じゃあ、今からやって欲しいことがあります。葉っぱを二枚拾ってみて。葉っぱをこうして眉毛の上に乗せて葉っぱを下げたら…笑った顔になるでしょ。（顔に葉っぱを乗せ眉毛のように動かして表情を出す）じゃあ今から言う顔をやってみて。まず、笑った顔！… お、にっこりした感じになったねえ。次は、泣いた顔！… なるほど、ほんとに泣いてるみたい。

さて、これからみんなに自然のものを拾って、それで顔をつくってもらいたいと思います。（人数が多い場合）まずはチーム分けをしよう。協力してつくろうね。近くにある葉っぱ、枝、木の実や石などを拾って材料にしてね。黒布の上にロープで枠をつくって顔をつくってみよう。

（様子を見て）はい、終了です！

みんな、できたみたいだね。今から他のグループが作った顔を見てもらいたいと思います。今から時間を少し取るので好きに見て回ってね。どうだった？面白い顔はあった？お、向こうの顔が面白かった？じゃあみんなで見よう！

※完成したらバンダナを乗せておいて、順にバンダナを取って発表するやりかたもあります。※少人数の場合は、誰の顔を作ったの？などの声掛けをしながら詳しくお互いの顔を共有します。大人数の場合は自由に見て回る展覧会方式で共有します。

いろいろな楽しい顔ができたね。今日は自然のものを拾って顔をつくりました。やってみて、すごいと思ったことや発見したことはある？ここにはずいぶん色々な自然のものがあるんだね。そして葉っぱや枝が顔に変身したね。近くの公園やお家の庭でも、今みたいに楽しい顔をつくってみてね。じゃあ、葉っぱや枝はもとあったところに戻してあげてね。

発展・応用

- 向きを少し変える、素材の大きさを変える、などで表情が変わったりする、顔だけでなく身体も作ってもいい、などイメージをふくらますと、遊びがどんどん発展していきます。

